



きたっ子



2学期のスタートにあたり



8月20日より9月12日まで、甲斐市など県内の多くの市町村が「蔓延防止処置」の対象となりました。私の身近なところでも感染した方がいたり、PCR検査を受けた方がいたりしたという情報を耳にするようになりました。すぐそこにある危険なのかもしれません。しかし、感染を防ぐ方法がある程度わかっていることも事実です。

『正しく知って、正しく恐れる』新型コロナウイルスが流行し始めたころ言われていた言葉です。

新型コロナウイルスは、飛沫による感染がほとんどです。(東京都医師会資料より)だからマスクの着用が必要となります。狭い場所や人込みに行くことを避けるのもこのためです。マスクをつけられないとき(食事の時など)は、できるだけ会話を避けるようにします。また、飛沫が付着したところを触った手などを介して感染することもあります。だから、手洗いや手指消毒をします。多くの人に触る場所の消毒をします。これは、基本中の基本ですが、子どもたちにもぜひ伝えていただきながら(教室でも担任から伝えます)、この状況を乗り切っていきたいと思います。

そして、学校としては、「新型コロナウイルスに対する感染防止策(R3.4.8)」を基に、「甲斐市教育委員会からのメッセージ(8月20日安心メール)」にあるように、更なる感染防止対策を講じながら教育活動を進めていきます。

感染力の高い「デルタ株」の感染者が増えていると報道されています。今まで大丈夫だったからではなく、今まで通りか今まで以上の心構えが必要なのだと思います。

子どもたち、そして自らの生活を守るために、感染防止対策を徹底していきましょう。

* * * * *

2学期始業式の話

体育館が改修中で使えないので、校内放送により行います。話の内容は次の通りです。夏休みのことについて。

- ①3つの車のお世話にならなかったか尋ねます。その寸前まで行ったかも尋ねます。大丈夫だったら(担任の先生が)褒めます。
- ②オリンピックの競技を見たか聞きます。知らない国の名前があった時、その国について調べたか尋ねます。国だけじゃなくて、競技のことやオリンピックの歴史を調べたかも尋ねます。調べた子は(担任の先生が)褒めます。
- ③何かの達人になったら、教えてくれるよう伝えます。

2学期のことについて。

- ①新型コロナウイルスに感染しないように注意すること。
- ②楽しみな行事がいくつもある。行事に向けてみんなで協力して頑張ること。
- ③2学期が終わるときには、今よりも『賢くて、優しくて、元気な北っ子』になれるように一人一人が努力してほしい。

* * * * *

24日、**東京パラリンピック2020**が始まりました。この大会に合わせてNHKではパラリンピックに関する番組をいくつも放送していました。また、他局も特集を組んだり、新聞紙上でも様々な話題が掲載されたりしています。

パラリンピックに対する意見も様々なものがありますが、東京パラリンピック委員会HPによると、パラリンピックの意義は次のように示されています。

『様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場です。すなわち、共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会です。また、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることにも気づかせてくれます。』

